

社会ビジョン

- ◆すべての人にとって「居場所と出番」のある社会
 - ◆「支え合いと活気」のある社会
- ◆「活私豊公」社会：行政に任せきりにせず、国民一人ひとりが自らの得意分野で活躍しながら「公」を豊かにする社会

背後にある社会改革

当事者による民主主義の形成
資本主義のあり方の再考

実現へのアプローチ

◇[協働の場]で自らの問題を解決する
多様な当事者が「協働の場」を作ること
自らの問題を解決する

◇「官」が「民に開く」
「官」が「独占」してきた権限やリソースを
「民に開き」、国民の選択肢を増やす

◇企業の参画促進によって活気を作る
企業が「新しい公共」により深く参画する仕組みを
作ることによって「支え合いと活気」を促進する

◇社会イノベーションで「つながり」を作る
社会イノベーションによって無関心や対立を相互信頼へと
関係を変え、満足度が高く、社会コストが低い社会を形成する

実践例

阪神淡路大震災の住民とボランティアの協働
「熟議」による当事者の「協働の場」の普及

寄附税制の革新的改革
公共施設を利用した地域スポーツクラブ

エンジェル税制を社会的企業に広げる
年金ファンド投資にSRIを導入する制度整備

お年寄りが「出番と居場所」をもち医療費も
低い「いろどり」など、ソーシャルキャピタルが
高いコミュニティを構築する

